

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	404 児童館事業経費	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	04	児童福祉費
		目	05	児童館運営費
基本 施策	09 家庭の教育力を高める	細目	230	児童館管理運営事業
		目	51	児童館事業経費
行革大綱の重点事項番号				
担当課	コード	101100		担当者 氏名
	名称	人権生活環境部 八幡町市民館		
		担当者 氏名	岡澤 桂子	連絡先
				24 - 2466 (内線)

対象(誰を、何を)	久米小学校区児童	※対象件数	120
成果(どうする)	放課後児童の健全な遊びや学習の場を作る 差別に気づき、仲間とともに差別をなくす子どもを育てるための学習、活動をする		
根拠法令・要綱等	伊賀市児童館設置条例		
開始年度/平成	年度	関連事業	
終了年度/平成	年度		
H22 事業 内容	○放課後の児童が学習や遊びをする場として、各種教室を実施する そろばん教室(毎週火曜日、登録54名) 卓球教室(毎週水曜日、登録22名) ○差別をなくす、仲間づくりの活動として地区学習会を実施する 毎週木曜日実施(年約30回程度 76名参加)		
社会情勢の 変化等			

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
そろばん教室開講		回	目標	98	目標	100
			実績	98	実績	107
卓球教室開講		回	目標	96	目標	96
			実績	96	実績	98

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
教室への参加率		参加者数/登録者数	%	目標	70	目標	70
				実績	62	実績	63
延べ利用者数		来館児童数	人	目標	10,000	目標	10,000
				実績	11,792	実績	13,997

投入 コスト	H21 決算		H22 決算		H23 当初予算		H24 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
直接事業費計(A)	1,307	1,425	1,220	1,220				
Aの 財源 内訳	国庫支出金							
	県支出金	1,100						
	地方債							
	その他							
一般財源	207	1,425	1,220	1,220				
事業投入人件費(B)	1.5人	10,800	1.5人	10,800	1.5人	10,800	1.5人	10,800
フルコスト(A)+(B)	12,107	12,225	12,020	12,020				



判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必 要 性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	活動内容を工夫、充実させて児童の参加率を高める
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	○
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	学校の夏季休業中に、参加できない児童のために教室を増設する
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 夏季休業中に、参加できていなかった2年生の児童に対しそろばん教室を開講した(11回実施、7名が登録参加した)



担当課長氏名	福島 照光
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 遊びの場、学習の場を提供するという役割は、成果を上げている。
現時点における課題、その他	なし
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	なし